



この町で、この地で笑って老いたい ~そのために今すべきこと~

【まち協だより】

令和6年2月号

電話(FAX) 82-0933

発行:山上まちづくりの会事務局

関西日南町人会 令和6年2月18日開催



2月18日(日) 第19回関西日南町人会が4年ぶりに大阪市のハービスプラザで開催されました。参加人数は町人会会員32名、来賓1名、町関係者19名の52名の参加者でした。(うち山上の会員は7名の参加で前回より3名の減) 皆さんが久々の再会の喜びとともに、ふるさとへの思い、思い出話を語り合い、盛り上がりました。健康上の問題、高齢等で参加者が減っており残念だと言っておられました。

最後に唱歌ふるさとを熱唱して2時間の短い懇親会が終わりました。『皆さんお元気で』またお会いしましょう。

(文章 まち協会長木村正史 山上集合写真撮影 地域づくり推進課)

日南町バドミントン大会 ~厚生体育部~

令和5年度日南町バドミントン大会が日南町体育館で2月18日(日)に開催されました。山上は山上体育館で大会までに4回の練習を楽しみ、2チーム13名が町大会に参加しました。町大会には7チームが参加、山上A支部が3位になりました。山上体育館での練習は夕方からストーブを焚いて和気あいあいやっています。皆さんもバドミントンで軽く気持ちの良い汗をかいてみませんか。



好きなこととは

嫌でたまらない学校でしたが、雨の日に室内でする『すわり角力』は好きでした。いつもは、どれだけ友達の中にはいつて遊ぶでもなく、どこにいるのかわからないほど目立たない岩雄が、すわり角力が始まると仲間に入ってきて、「がんばれ」「押して、押して」と応援するのです。そして、そんな日は、「今日のすわり角力は、強かったね。四勝一敗だったよ」「この前と合わせて、十二勝九敗だね」「もう少しのこれば勝てたのに惜しかった」などと、すわり角力の話に花が咲いて、楽しそうな岩雄になるのです。

他の子供たちと同じようにすわり角力に熱中している岩雄を見ると、母親のひやくは、なんとかこの子を人並みのハキハキした男の子に育てたいという気持ちが強くなるのです。

その頃、村の子供たちの遊びに竹馬がありました。身長よりも少し長い竹の中ごろに足を乗せる横木をつけて、そこに乗って歩いて遊ぶのです。



さつそく岩雄にも竹馬を作ってやって、友達と一緒に遊ぶよう仕向けてみるのですが、岩雄は見向きもしません。

毎日飽きもせず一人で家の中で絵を描いたり、庭でうずくまって地面に絵を描いたり、草や虫をいじったりして遊んでいるのです。天気の良い日には、ぶらりと近くの谷川や田の畦などに出かけることもあります。が、そんな時でも、めだかを追いかけたり、石の下に隠れているサワガニを捕まえたり、自分ひとりの世界を楽しんでいる様子です。どここの家でも秋が深まると、冬の間のた

き木を集めて冬ごもりに備えるのが一つの大きな仕事です。岩雄の家でもこのところ、お天気さえよければ両親は山で蒔とりです。長男である岩雄は家の手伝いをしなければなりません。

よく晴れたある日、両親たちと一緒に山に出かけることになりましたが、ふと見ると手に釣り竿と空き缶を持っています。朝、姿が見えなかったのは、裏の竹やぶに入つて釣りの餌にするミミズを捕って空き缶に入れていたのです。

一汗かいたところで休憩となり、持っていたおにぎりが配られます。今までそのあたりを走り回っていた二人の弟は母のそばに寄ってきて、おにぎりを口に運んでいきます。岩雄はおにぎりを受け取ると、黙って釣り竿と餌の入っている缶を持って、少し離れたところにある堤にいつて、腰を降ろしました。

その後ろ姿にひやくは、「お茶はいらないかな」と、声をかけましたが、岩雄は、釣りのことしか心にならないようで返事もありません。ひやくは、やっぱりこの子は変わつていて、ため息をつかずにはおれません。